

7月13日タウンニュースに市内3クラブの会長が紹介されました。

2018

# 奉仕団体の会長に聞く

vol.1

茅ヶ崎ロータリークラブ / 茅ヶ崎湘南ロータリークラブ / 茅ヶ崎中央ロータリークラブ

地区方ハナを輩出し、ホスト役として地区大会地区研修協議会を取り仕切る。その成功へ向けて、クラブのPR文を作成。全員投票で決まった『そこから何が始まる、茅ヶ崎へ』を軸に、未来を見据えた堅固な土台を築く。

## 未来へ堅固な土台を

茅ヶ崎湘南ロータリークラブ



小川 晃さん  
社会福祉法人松林保育園

ケ崎湘南ロータリークラブには、一人ひとりの力を合わせ、世界へ貢献を続けるという意味が込められている。大学卒業後、保育業界へ。以来40年以上地域の子どもたちの成長を見守ってきた。その功績が認められている。

## 魂受け継ぎ進化を

茅ヶ崎ロータリークラブ



岩澤 あゆみさん  
くまじ(株) 代表取締役社長

明治創業の呉服店くまじの5代目。50年間クラブに所属した祖父の跡を継いで入会した。「幼い頃からクラブの家族行事に参加し、触れてきた魂を守り未来を描いていく」と意気込んだ。

クラブ初の女性会長。第59代会長として掲げたのは『手に手つないで、これまでもこれからも誇りあるクラブ・真のロータリアンを目指して』。「脈々と受け継がれてきたスピリットを守り、進化していきたい」と46人の会員同士の相互理解を深めつつ、浜降祭の海岸清掃や茅ヶ崎駅南口の花壇の植栽といった地域奉仕を継続し、国際奉仕も見据えている。

## 地元の子どもたちに

茅ヶ崎中央ロータリークラブ



山本 泰然さん  
(株)フジプロ 代表取締役

30人が参加。35周年事業として、これまでの海外への奉仕から茅ヶ崎へと目を移し、地元の子どもの貧困解消へ汗を流す予定だ。

『基本に戻る』。35年目の順番に自らの会社について語る。「会員同士の仕事にあえてこう据えた。仕事のつきあいを増やしたい。会社へのメリツ間を紹介し合える雰囲気もあつた方がいい」。ベスコア76のゴルフでも、クラブの絆が深まっている。6月に開催したコンペには、会員だけでなくその家族など約30人が参加。35周年事業として、これまでの海外への奉仕から茅ヶ崎へと目を移し、地元の子どもの貧困解消へ汗を流す予定だ。